

■ 建設業に携わる社会人として、“同期の仲間”とともに歩み始めました。



建設業の新入社員が、学生から社会人への切替えと、建設業への理解促進に必要な研修を受講しました。また、合宿で寝食を共にすることにより、建設業同期で課題を共有し解決につなぐことができる“仲間づくり”ができました。

- 1 **日時** 令和元年6月20日（木）～21日（金）
- 2 **場所** 建設ICT人材育成センター
（大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階）
- 3 **対象者** 岐阜県内の建設企業の入職3年以内の30歳未満の技術者
- 4 **参加者** 18社 24名
- 5 **内容**

	内容	講師
1日目 9:00 ～	集合・受付（4階 研修室）	
9:20～9:40 9:40～10:00 10:00～20:30	・開講式 ・オリエンテーション ・社会人としての責任と義務 ・挨拶行動 ～社会人としての基本行動～ 等 ・ビジネスマナー ・生産性向上に向けた現場の最新技術 ～建設ICT 技術に触れる～ ・グループ研究 ～交流から自己啓発へ～	一般社団法人 岐阜県建設業協会 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター
（宿泊）	ワークショップ24内の宿泊施設に全受講者と講師が宿泊	
2日目 7:00 ～	朝礼・朝食	
8:30～16:30 16:30～17:00	・建設業と労働安全衛生 ～地域社会における建設業の役割や貢献～ ～労働災害防止の知識～ ・仕事に取り組む決意 ～プロ意識の確立～ ・実践話法演習 ～自己表現とコミュニケーション～ ・スピーチ演習 ～実践話法の成果まとめ～ ・他己改善と自己活性化 ～社会人としてのより良い自分づくり～ ・閉講式	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター

- 6 **主催** 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）

7 研修状況

【1日目】



開講式
(一社)岐阜県建設業協会 松島労働委員長



社会人として心構え（愛される技術者になるために）



挨拶行動、ビジネスマナー



建設ICTの技術（生産性向上の取組み）



夕食、意見交換



夕食、意見交換



自社PRをきっかけとした交流



自社PRをきっかけとした交流

【2日目】



地域における建設業の役割、労働安全衛生



スピーチ原稿作成、実践話法演習



スピーチ大会（私の仕事に取組む決意）



閉講式（修了証授与）



建設ルーキーズキャンプ 第3期生の仲間たち

第3期 24名の仲間が、
ともに歩み始めました。

8 受講者の感想

- ・挨拶やビジネスマナーの大切さを改めて実感することができた
- ・挨拶等、普段何気なく行っていることを一から叩き直していただきとても良い経験になった
- ・今まで受けたどの研修よりもマナーに厳しかった。その分、終わった時に成長した自分を感じた
- ・厳しい指導のおかげで時間厳守ができるようになった
- ・これからは、元気に笑顔で挨拶やコミュニケーションを積極的にしていきたい
- ・建設業が世の中になくてはならないと改めて感じた

- ・労働災害や人材不足という問題を改善する為、ICT技術の活用など注視していきたい
- ・仕事に取り組む決意を固め、社会人としての意識がより強くなった
- ・グループワークやスピーチ演習を通じて、協調性や自己表現の大切さを学ぶことが出来た
- ・今まで自分のことを支えてくれた人達に感謝することが出来て良かった
- ・これからは自分が建設業を支えていくつもりで、仕事に取り組んでいきたい
- ・参加させてくれた会社感謝の気持ちをこめて、これからの業務を行っていきたい
- ・自分の行動が会社の利益となる人材であろうと思った
- ・コミュニケーションを大切に良い現場監督に一日でも早くなれるよう頑張りたい
- ・先輩や周りの方々とコミュニケーションをとりながら、安全で楽しい現場づくりを行っていきたい
- ・資格取得などに力をいれ、社会に貢献できる現場監督になりたい
- ・同じ建設業で働く仲間の仕事への姿勢や考え方を聞き、良い時間を過ごすことが出来た
- ・グループ演習を通じ、仲良くなり良い刺激を受けることが出来た、後輩にもぜひ参加させたい
- ・今回出会った方達といつかまた出会い、一緒に仕事が出来たら良いと思った
- ・2日間とも自分で考える内容が多く、充実していた
- ・先生のお話が面白く聞くのがとても楽しかった。仲間もでき、楽しい2日間だった
- ・女性は自分ひとりと思っていたけど、女性の仲間に出会い仕事の話ができ、嬉しかった
- ・またこのような研修（機会）があれば、自分を見つめ直すためにもぜひ参加したい

以上